



福島県労連

2026年10月15日 Vol. 314(10月号)

発行／福島県労働組合総連合

〒960-8061 福島市五月町 2-5 一番ビル

TEL:024(522)3097 FAX:024(522)3102

Email:fkssoren@soleil.ocn.ne.jp

URL:<https://fkssoren.org/>



郡山市職労では毎年6月「さくらんぼ狩りツアー」を開催するに「さくらんぼ狩りツアー」とになりました。9月13日（日）に山形県上山に行つてきました。朝、郡山を出発するときは雨模様でしたが、次第に晴れてきて最高のぶどう狩り日和になりました。会場は、いつも「さくらんぼ狩り」でお世話になっている「山形チェリーランド」で、「スチューベン」と「ナイアガラ」をお腹一杯食べました。大人も子どもも、美味しいぶどうの見分け方を教えてもらったので、ぶどう選びの目が真剣でした。ひもが張られた向こう側には、これまた美味しそうなシャインマスカットがたくさん実っていました。来年は、シャインマスカットが食べれる「大玉コース」で企画を考えたいと思います。

（郡山市職労より）

「ぶどう狩りツアー」で交流

「自治労連郡山市職員労働組合」



10月4日（日）、宮城県東松島市の月浜海水浴場で、恒例の「地引網イベント」を開催しました。当日は曇り空となりましたが、福島地区から17

「地引き網イベント」で交流

「みやぎ生協労働組合」

名、宮城地区から50名、計67名が参加しました。

地引網では、参加者全員で力を合わせて網を引き上げました。魚は今年も「そこそこ」の漁獲量でしたが、新鮮なわかめは大漁！ 普段なかなかできない体験に、子どもも大人も大いに盛り上がりました。

その後は、焼きそばや焼肉、おにぎりなどを囲んでバーベキューを楽しみ、職場や世代を越えた交流を深めました。さらに、輪投げ大会では真剣な表情で挑戦する姿や珍プレーに笑い声が広がり、会場は終始にぎやかな雰囲気になりました。

参加者からは「家族みんなで楽しめて良かった」「子どもたちに自然を体験させられて良かった」といった声も寄せられ、家族や仲間との絆を深める、笑顔あふれる一日となりました。

（みやぎ生協労組より）

すべての子どもたちにゆきとどいた教育を！ 教育費拡充訴え、スタート集会開催

9月19日、二本松市内を会場に支部長）は、教員不足が常態化し、「ゆきとどいた教育を求める全国教育署名」福島県スタート集会が開かれ、教職員不足や長時間労働、保護者負担の軽減など、学校をめぐる課題を共有し、今年の運動を力強く進めていくことが確認されました。

呼びかけました。

福嶋さんのオンライン講演に聞き入る参加者



スタート集会では、主催者あいさつで星和雄実行委員長（県教組両沼授の福嶋尚子さんが「隠れ教育費と子どもの権利」をテーマにオンラインで講演。制服、教材、通学用品、部活動費など、学校徴収金だけでは見えない負担が、家庭の経済状況によつて子どもの学びや学校生活を左右している実態を具体的に示しました。また、無償化はそれ自体が目的ではなく、すべての子どもの学びと育ちを保障するための手段であると強調。指定品や学校慣行を見直し、共同購入や備品化、公費の拡充を進める必要性を訴えました。参加者による経験交流と運動方針の提起も行われ、教育条件整備を国の責任で進めるため、地域・職場から署名を広げる決意を新たにしました。

生計費原則で勧告を！

処遇改善求め、県人事委員会に要請

9月16日、県公務労組連絡会は、県人事委員会に各単組・分会から集まった要請書を提出し、交渉しました。参加した県立高教組、自治労連、県国公、医労連、県労連の役員は職場の状況と組合員の意見を伝え改善を訴えました。

再任用職員処遇改善について、「今回給料の増額が人事院勧告であったが、一時金は据え置きであり、はなはだしい差別だ。毎日働いているのに、生活が苦しいのはおかしい」と再任用組合員から訴えました。

また、人事委員会事務局長から「民間実態や他都道府県との均衡を考え」との回答に対し、「本来の生計費原則が抜け落ちていた回答で問題。自治労連では全国いっせいの生計費調査に取り組み、全国一律で20代でも29万円が必要となった。資料を参考に検討してほしい」と生計費原則の勧告を求めました。

その他、勤務間インターバル制度導入、定年延長での給与削減廃止、会計年度任用職員の格付け、手当・

休暇制度を求めました。

さらに、地域手当による地域間格差の是正や駐車場手当の取扱いでの問題点を指摘しました。

10月7日、県人事委員会は月給を2.96%、期末・勤勉手当を0.05ヶ月それぞれ引き上げ、民間との格差を埋めるよう県と県議会に民

勧告しました。引き上げ勧告は5年連続で、中堅層以上は前年を上回る引上げとし、その他の職員についてもすべての級で引上げとなります。



県人事委員会の伊藤智樹事務局長(右)に要求書を手交する県公務労組連絡会の安斎議長(左)

10月25日投票・福島県知事選挙

「物価高騰から暮らしを守る県政」を実現しよう!



福島県知事選挙が告示されました。10月25日が投票日です。

今回の県知事選挙では「連続する物価高騰からくらしを守る県政」を実現することが求められています。私たち福島県労連は、福島県に対し、「すべての労働者の大幅賃上げを実現するために、多くの労働者が働く中小企業や小規模事業所への支援を強めること」を繰り返し求めてきました。しかし、現在の内堀県政は私たちの要求に応えませんでした。最低賃金については、「人口減少」「人口流出」対策として、金額の引上げや全国一律制度を求める知事が全国で増えています。内堀知事は「最低賃金は国や審議会が決めるべきもの」という態度で、国や審議会に求めることをしませんでした。賃上げした中小企業への支援金については、昨年12月、2025年度の最低賃金引き上げへの対応として具体化しましたが、一度限りで終了させてしまいました。

た。ケア労働者の増員と処遇改善に対する県独自の支援もありません。福島県の県民一人あたりの財政規模は全国5位です。支援策を具体化できる財政力は十分にあります。

また、今回の県知事選挙は「原発の最大限活用」や「憲法改悪・戦争する国づくり」という国の方針との関係でも、大きな意味をもちます。多くの県民が不安や反対の声を広げていることで、県民のいのちとくらしを守る立場から「原発ゼロ」「戦争ノー」の声をあげる知事が必要になっています。

今回の県知事選挙で、福島県労連は特定の候補者を支持、支援することはしません。が、私たちの要求実現のためには、現在の内堀県政を変えていく必要があると考えています。組合員のみなさん一人ひとりの要求やねがいと内堀県政の態度、実態を学び、語り合い、投票に行くことをよびかけます。



★各単産・地方労連の定期大会

福島県農協労連

第117回定期大会

7月11日、福島市県教育会館で開催。全議案を承認し、賃金・人員不足・不払い残業などの改善をめざし、安心して働ける職場づくりを目指すことを確認しました。役員は渡辺勝義執行委員長、鈴木修書記長を再任しました。

7月29日、二本松福祉センターで開催。物価高騰に見合う年金引き上げと組織強化4か年計画を確認。各支部から仲間増やしの報告があり、財政検討委員会の設置も確認しました。佐藤征司執行委員長、安斎通書記長を再任しました。

年金者組合

第38回定期大会

9月17日、福島市アオウゼで開催。各単組から職場の実態や春闘の取り組みが報告され、雇用と暮らしを守る新年度方針を確認し、全議案を承認。役員は穴戸清議長、大波清貴副議長を再任しました。



福島地方労連

第38回定期大会

9月16日、郡山市労働福祉会館で開催。方針・予算など全議案を採択し、「対話と学びあい」をキーワードに、職場の要求実現と組合員拡大を一体的にすすめることを確認しました。笠原浩議長、草野芳明事務局長を再任しました。

郡山地方労連

第38回定期大会

9月16日、郡山市労働福祉会館で開催。方針・予算など全議案を採択し、「対話と学びあい」をキーワードに、職場の要求実現と組合員拡大を一体的にすすめることを確認しました。笠原浩議長、草野芳明事務局長を再任しました。





まちがいは7つ



みんなで参加しましょう！

働くもののいのちと健康を守る

第17回 東北セミナーin山形

日時：11月8日（日）10:30～15:30

会場：山形テルサ（オンライン併用）

内容：10:30～12:00 記念講演

「働く人のいのちと健康を守るために
～今、職場でできること」

講師：菅原 保さん（本間病院院長）

13:00～15:30 分科会

① ハラスメントをなくす 第三者介入ワークショップ

講師：寺園通江さん（全労連事務局次長 女性部事務局長）

② 労基法「改革」で私たちの「働くルール」はどう変わるか

講師：森崎 巖さん（元全労働省労働組合委員長 元労働基準監督官）

参加費：1,000円

参加申込み：10月23日〆切り。福島県労連まで

応募のしかた

正解者5名に

図書カード当たります！

応募はハガキ（メールも可）に、①クイズの答え、②氏名（ふりがなも）、③住所、④所属労組名、⑤ひとことを必ず（必要な方はペンネームも）書き添えてご応募ください。締め切りは11月15日です。抽選で5名の方に図書カードをプレゼントします。

312号（8月号）のクイズの答えと当選者

答えは①左端女性の巾着②左側男性のうちわ③犬の尻尾④女の子の右足⑤右側女性の帯⑥左端女性の右手⑦右側花火の筋でした。応募者は9名で全員が正解。次の方に図書カードを送ります。

◇ナマステさん 福島県医労連
◇だちんさん みやぎ生協労組
◇ライト君さん 年金者組合津若松支部
◇玉屋のたまちゃんさん 福厚労鹿島分会
◇負けるなジャイアンツさん 二本松市職労

福島県春闘共闘委員会 2027年総会

日時：11月27日（金）18:15～20:00

会場：オンライン開催（県労連事務所から発信します）

内容：

●18:15～19:10 あいさつと講演

演題：2027国民春闘方針について（仮題）

講師：黒澤幸一さん（全労連・国民春闘共闘委員会議長）

●19:10～20:00 県春闘共闘からの提案と交流

聞いて聞いて 私の思いみんなの願い

☆食欲の秋到来。我が家は鍋シーズンに突入です。

（みやぎ生協労組

カビゴンママさん）

☆急に寒くなつて、気分もさびしいですね。ボーナス頑張つてほしい。

（福厚労坂下分会

もみじさん）

☆9月はぐずった天気が続き、体調を崩してしまいました。身体が資本です、みなさんもご自愛ください。

（みやぎ生協労組

だちんさん）

☆定年が見えてきましたが、57才からの昇給停止とボーナスカットをやめてほしいです。

（福厚労坂下分会

ナギサクさん）

☆長雨も終わり、いつのまにかすっかり秋ですね。短い秋を楽しみたいと思います。

（福厚労坂下分会

チシロさん）

☆ポストシーズンの大谷さんに期待です！

（二本松市職労

ジャイアンツ一筋さん）

自動車共済

割安な共済掛金、補償は充実！

等級別割引・割増の継承ができる！

全労連共済 お申し込み・お問い合わせは各共済会へ